



東北大学大学院医学系研究科で脳科学を研究する
仙台市青葉区のインメイズインハンさん(30)はミ
ャンマー出身です。なぜ脳科学に興味を持った
のかな? これまでの歩みを教えてもらったよ。

インメイズインハンさん(30)

ミャンマー出身 / 東北大学大学院生

インメイズインハンさんは、ミャンマーのヤンゴンで生まれました。外交官だった父の影響で、小学4年生だった2006年から中学1年生まで東京で暮らしました。

「日本語が全然話せず、最初は友達ができませんでした。テレビでバラエ

ティ番組を見たり、音楽を聴いたりして、少しずつ日本語を覚えまし
た」と話します。



「アイドルグループ「嵐」を好きになり、一気に友達が増えまし

あなたの隣の 外国人



心の交流をテーマに研究



お気に入りの定禅寺通で「四季を感じられる仙台は大好き」と話すインメイズインハンさん

が、自身は患者とのコミュニケーションに難しさを感じていました。「家から遠くても、この医師に診てもらいたい」と来る患者さんもいました。治療に生かせるコミュニケーションとは何か、心理と脳の関係を追求したいと思いました」と振り返ります。



2020年に再来日し、「人が人とコミュニケーションを取りたいのはどんな時か」などをテーマに研究を続けています。

将来的には、家族間のコミュニケーションを良くする教育などに携わりたいそう。他にも「ミャンマーではあまり図書館に行きたくなるような図書館を増やすことが夢です」と笑って教えてくださいました。

た。日本を離れる時は涙があふれ、「絶対に日本に戻ろう」と思ったそうです。帰国後も日本のテレビドラマなどを見て、日本語を忘れないようにしていました。

ミャンマーでは、高校卒業前に受ける全国一斉試験で高得点を取った人から、進学する大学を選ぶことができるシステムだそう。特に医師になりたいと思っていたわけ

ではありませんでしたが、ヤンゴン第二医科大学に進学して、医師免許を取得しました。

ミャンマーで医療支援活動に取り組む日本の非政府組織(NGO)「ジャパンハート」で19年から約2年、外科の研修医として働いたことが転機となりました。日本人の医師は患者と向き合い答えを引き出し、信頼関係を築いていました

きょうのテーマ

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

この日 何の日

◇31日(日) 世界禁煙デー
健康のため禁煙を推進しようと、世界保健機関(WHO)が1988年に設けたんだ。日本の成人男性の喫煙率は約60年前は約80%だったけど、健康意識の高まりで2024年は24.5%に下がってるよ。

きょうの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 連載「古代のモンスター」
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6・7面 三日月かぶと写真特集
- 8面 三日月かぶとワークショップ